

6年便り

第 6 学 年

No.8 2020.7.27

Fantastic!

これが「みんなで考え 伝え合い 解決する授業」だ



先週水曜日、6年生が目指す「みんなで考え 伝え合い 解決する」授業を全校の先生方に見ていただきました。算数の「分数÷分数」の単元、「分数÷分数の計算はどのように考えたらできるか、説明できるようにしよう」という学習でした。「分数÷分数の計算は、割る数の逆数をかければできる」ことは教科書を見れば載っていますし学習塾などでも教わったかもしれません。しかし、授業で子どもたちに着けたいのは知識だけではありません。

問題を様々な角度から見たり考えたりする力や、既習事項を活かして論理的に思考することができる力こそ、子どもたちが「自分で学び続けていく」ために必要な力です。

自分の考えに自信をもって積極的に発表をする子もいれば、どのように考えたらよいかわからず困っている子もいます。教室はそのような様々な状況の子どもたちが混在しているからこそ学びの場になるのです。

「わからない」を大切にし、友だちと関わりながらこれまでに学習したことや見方、考え方を活用して学習を進めた6年生の子どもたちの姿に、授業後、教頭先生が「素晴らしい姿だったねえ」とお褒めの言葉を私にくださいました。そのことを子どもたちに伝えると、「Fantastic!」と笑顔で叫んでいました。Fantasticは先日英語の時間に学習したばかり。ここにも学習したことを活用する、Fantasticな子どもたちの姿がありました。



お知らせ&お願い

○ 個人面談、よろしく願いいたします

- ・ 短時間ですが暑い中での面談となります。よろしく願いいたします。